

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

(退職給付引当金)

役職員の退職給付の支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	448,382,900	401,048,900	800,000,000	49,431,800
投資有価証券	2,551,617,100	800,000,000	401,048,900	2,950,568,200
小 計	3,000,000,000	1,201,048,900	1,201,048,900	3,000,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	3,901,000	996,000	0	4,897,000
国際交流・人材育成事業 積立資金	19,000,000	8,000,000	19,000,000	8,000,000
小 計	22,901,000	8,996,000	19,000,000	12,897,000
合 計	3,022,901,000	1,210,044,900	1,220,048,900	3,012,897,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味財産 からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	49,431,800	(49,431,800)	(-)	(-)
投資有価証券	2,950,568,200	(2,950,568,200)	(-)	(-)
小計	3,000,000,000	(3,000,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当預金	4,897,000	(-)	(-)	(4,897,000)
国際交流・人材育成事 業積立資金	8,000,000	(-)	(8,000,000)	(-)
小計	12,897,000	(0)	(8,000,000)	(4,897,000)
合計	3,012,897,000	(3,000,000,000)	(8,000,000)	(4,897,000)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第14回旭硝子社債	100,015,000	100,150,000	135,000
第89回住友不動産社債	100,085,300	100,300,000	214,700
第4回三越伊勢丹ホールディングス社債	100,142,900	100,380,000	237,100
第98回丸紅社債	200,159,300	200,880,000	720,700
第97回住友不動産社債	100,113,500	100,766,000	652,500
第334回利付国債	50,052,200	50,435,000	382,800
モルガン・スタンレー ユーロ円債ステップアップ債	100,000,000	98,913,000	-1,087,000
BPCE 第7回円貨社債	100,000,000	98,730,000	-1,270,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第29回無担保社債	100,000,000	98,983,000	-1,017,000
第7回三菱商事無担保社債	100,000,000	98,431,000	-1,569,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第5回無担保永久社債	200,000,000	199,922,000	-78,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第7回無担保永久社債	100,000,000	99,001,000	-999,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第9回無担保永久社債	200,000,000	195,768,000	-4,232,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第11回無担保永久社債	100,000,000	95,043,000	-4,957,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第13回無担保永久社債	100,000,000	93,700,000	-6,300,000
第1回明治安田生命劣後ローン流動化無担保社債	200,000,000	181,088,000	-18,912,000
第4回第一生命ホールディングス永久社債	100,000,000	88,423,000	-11,577,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第14回無担保永久社債	100,000,000	90,962,000	-9,038,000
第7回日本生命劣後ローン流動化無担保社債	200,000,000	185,966,000	-14,034,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第7回無担保社債	200,000,000	189,502,000	-10,498,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第30回無担保社債	200,000,000	196,374,000	-3,626,000
三菱UFJフィナンシャルグループ 第11回無担保社債	200,000,000	199,004,000	-996,000
基本財産(債券)合計	2,950,568,200	2,862,721,000	-87,847,200

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	148,785	148,784	1
合 計	148,785	148,784	1

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息(指定)	26,930,201
合 計	26,930,201

7. 金融商品の状況に関する注記

(1) 金融商品に対する取組方針

当財団は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券及び定期預金により資産運用します。尚、外貨建運用及びデリバティブ取引は行わない方針としています。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

債券発行体の信用リスクについては、定期的に把握し、理事会に報告します。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

金融商品の取引は、当財団の資産運用規程に基づき行います。資産運用規程の改定には、理事会の承認を要します。